



案内ページ



「防空壕への避難」「真っ赤に染まる空」「父からの残された手紙」など、市民が語る戦争体験の動画を市公式YouTubeで配信しています。

戦争体験講話を配信

広島・長崎の原爆被災に関するパネル展
8月3日（月）～14日（金）（閉庁日除く）
市役所エントランスホール



戦争を語り継ぐパネル展

平和祈念の黙とうを

テレビやラジオの合図で1分間の黙とうを行います。戦争や原爆で犠牲となった方々の冥福と世界の恒久平和を願い、黙とうをささげましょう。

- ・広島に原爆が投下された
…8月6日（木）8時15分
- ・長崎に原爆が投下された
…8月9日（日）11時2分
- ・終戦の日…8月15日（土）12時



こどもたちによる「平和なまち」絵画コンテスト

「私にとつての平和」をテーマに描いた絵画を募集しています。選定した作品を市が加盟する平和首長会議の「平和なまち絵画コンテスト2026」に提出します。



案内ページ

戦没者追悼式

毎年8月上旬に、市内の戦没者に対して安らかな冥福を祈り、恒久平和を祈念しています。



市の平和事業

図市民相談課 ☎046(235)4568・福祉政策課 ☎046(235)4820

生徒インタビュー

広島で学んだ平和のバトンを未来へ



有馬中学校3年生
鶴田 希乃果さん

有馬中学校の生徒たちは3年間の平和学習、広島への修学旅行を通じて何を感じたのでしょうか。平和のバトンを未来につなげるために、学んだことや感じたことを聞きました。



有馬中学校3年生
奥谷 樹さん

Q印象に残っていることは？

鶴田 今はきれいな川に、当時は原爆が投下され、被爆者が飛び込んだということを想像すると衝撃的で、なんとも言えない不思議な気持ちになりました。平和記念資料館の中は、人の想いや魂が宿っているような、独特の雰囲気を感じました。

奥谷 平和宣言をした時に、どこにでもいる中学生の言葉に、高齢のご夫婦や外国の方が耳を傾けてくれたことがとてもすてきで、人のつながりを感じました。そんな温かい街に原爆が投下されたということが信じられませんでした。

Q1年生からの平和学習が、どのようにつながりましたか？

鶴田 1・2年生での新聞制作で、知らないことを深く知ることができました。ただ、文字などの資料で知ることができる内容には限りがあると感じていましたが、実際に広島に行ったことで、学んできたことがつながったり、新たに湧いてくる感情がありました。

奥谷 原爆とは何か、何人が犠牲になったのかということを知ることができました。その上で、実際の展示物などを見ると、私たちと同じ中学生や何人もの人が悲惨なことを経験して、そこには一人一人の物語があったということが伝わってきました。

Qこれからの自分たちにどのようなことができると感じましたか？

鶴田 感じたことを自分の中だけで終わらせるのではなく、人と話して関わり合ったりすることで、家族や友達に「平和」は当たり前ではないことを伝えたいです。「平和」は誰かが守ってくれるものではなく、私たちが受け継いで築いていくものだと感じています。

奥谷 広島も海老名も同じように温かい人がいて、「平和」が存在しているということを伝えたいです。自らの問題として捉えることができた今だからこそ、普段からニュースを見たり、新聞を読んだりして、「平和」について自分ができることに興味を持ち続けることが大切だと感じています。



写真提供…(有)林写真商会

他の中学校の修学旅行では長崎へ

平和学習の一環として、修学旅行先に長崎を選んだ中学校があります。

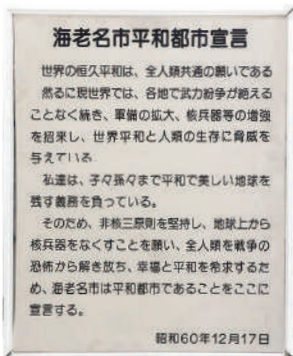
生徒たちは現地で、原爆資料館の展示品を見学し、浦上天主堂信仰の礎などのガイドを聞いて、被爆の歴史や平和の尊さにふれながら理解を深め学んできました。

学びの場は異なっていますが、平和の大切さを未来へつないでいく想いは共通しています。

市内各地にある平和のシンボル

図市民相談課 ☎046(235)4568

平和都市宣言



昭和60年12月17日に平和都市宣言を行い、戦争や原爆の記憶を風化させることのないよう、平和行政の推進に取り組んでいます。

平和都市宣言塔



平和の大切さを身近に感じるシンボルとして宣言塔を海老名駅西口そばから、大谷コミセン、東柏ヶ谷近隣公園などに設置しています。

被爆アオギリ二世



被爆したアオギリの種から成長した苗木は「平和を愛する心」「命あるものを大切にする心」を後世に伝えるため、広島市に名付けられました。市では、平成22年4月の「平和市長会議」への加盟を記念して同年5月23日、市役所南側芝生広場に植樹しました。